

## 2月17日：悲観的な見通しと警戒感からベトナム株は下落

ベトナム株は月曜日に投資家の警戒感から下落した。その他のアジア新興国は上昇した中でのことであった。

ホーチミン取引所のVN指数は0.29%下落し934.77ポイントで取引を終えた。

先週のVN指数は0.35%ほど下落していた。

出来高は1億8300万株で売買代金にして3.4兆ドンであった。

相対取引では1億4900万株が取引され売買代金にして2.5兆ドンであった。

流動性は金曜日や20日の平均よりも下落した。投資家は警戒感から積極的な取引を控えていた。とサイゴンハノイ証券は語った。

不動産、保険、証券、建設、水産加工などが相場の重荷になった。

建設セクターを押し下げたのはFLCファロス建設(ROS)で7%安となった。次の4半期レビューにおいて海外ETFのポートフォリオから除外されるだろうとの思惑からの動きだった。

不動産株は下落、社債への新しい規制のためだった。

水産加工業者も下落した。多くの業者が2019年の低い利益を報告したためであった。

繊維・縫製株は2020年末まではEVFTAの恩恵を受けられないと証券会社が予想したために値下がりをするようになった。

それら3つのセクター指数は1.3-1.8%下落した。

一方、銀行、小売、飲食料品、医薬品は相場の下落を和らげた。

銀行セクターは0.8%の上昇となった。EVFTAの批准にともなってヨーロッパの投資家からの投資を集めるとの期待によってだった。

投資家心理が悪い中で中国株は景気刺激策への期待から上昇したことにアナリストを驚かせたとVNダイレクト証券は語った。

市場は大型株が弱含むと上昇のモメンタムを失ってしまったと同社は語る。VN 指数は鈍いペースの反発を続けるだとうと思われる。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.16% 下落し 109.57 ポイントで取引を終えた。同指数は先週 4.6% ほど上昇した。

出来高は 3300 万株で売買代金にして 3663 億ドンほどであった。



## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。